

4 健康で安心して暮らせるまち

*** 重点 ***

項目	主な取り組み
健康寿命の延伸	<ul style="list-style-type: none"> ○町民の主体的な健康づくり体制の整備 ○フレイル予防の推進 ○運動習慣の確立・定着化
安心できる相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○町全体で受け止める相談支援体制の構築

——— 現状と課題 ———

保健・医療

健康づくり

本町では、健康づくり計画を策定し、生活習慣の改善を中心とした取り組みを行っていますが、運動習慣のない人・喫煙している人が増加し、男性の飲酒習慣者の割合が鳥取県・国平均より高いなど、健康づくりの意識が定着しているとは言い難い状況です。

また、がん、虚血性心疾患・脳血管疾患といった生活習慣病の疾病全体に占める割合は依然として高く、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占めています。胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんといった5大がんの検診受診率及び循環器疾患や糖尿病などの特定健診の受診率は目標に遠く及ばない状況です。さらに、後期高齢者の質問票によると、社会的フレイルの状況を把握するための指標が高くなりました。

町民一人ひとりが自分の健康管理に対する意識を高め、それぞれの人生のライフステージにあった健康づくりに取り組んでいくことが必要です。

医療保険

国民健康保険については、後期高齢者への移行と社会保険適用の拡大から被保険者数が年々減少し、一方で高齢化や医療技術の高度化により、医療費は増加すると見込まれています。財政状況は一般会計繰入金や財政調整基金繰入金により、単年度収支では黒字決算で運営していますが、被保険者数の減少と医療費の増加により、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

また、厚生労働省は遅くとも令和17年度までに県単位での国保料水準の完全統一を進めており、県・市町村で方向性やスケジュールを検討中のため、完全統一に対応した保険税率の検討が必要です。

後期高齢者医療保険については、高齢化の進展とともに被保険者数及び医療費は増

Ⅲ 基本計画

4 健康で安心して暮らせるまち

加しています。

今後も医療費の適正化と保険税・料の確保をより一層推進する必要があります。

福祉

地域福祉

少子高齢化、核家族化、過疎化が進行し、従来の地域社会の構造が変化し、地域における住民同士の助け合い機能や自治機能が低下傾向にあります。また、地域社会の変化に伴い、住民が抱える生活上の困りごとや不安の原因が多様化し、複雑になっています。誰もが安心して暮らせる社会を実現するために総合的な取り組みが求められています。

介護・高齢者福祉

本町の高齢化率は上昇傾向で、高齢者独居世帯、高齢者のみ世帯の増加が顕著であり、地域でも孤立しがちとなり、健康や生活に不安を抱える高齢者が増加しています。また、高齢者からの相談件数は、年々増加し、多様で複合的な問題を抱える世帯も増加しています。

支援の必要な高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心した生活を営むことができるよう、認知症施策と地域包括ケアシステムのさらなる深化を図り、相談支援体制を充実させる取り組みが必要です。

また、高齢者が自ら積極的に地域での生きがいをづくりや交流活動に取り組めるよう支援するとともに生活機能の維持・向上に向け、フレイル・介護予防の普及・推進を図る必要があります。

なお、介護保険制度の運営については、効率的・効果的な運営を目指し、南部町・伯耆町・日吉津村で構成する南部箕蚊屋広域連合で実施しており、相互の連携を図りながら事業を推進しています。

障がい者福祉

障がい者の高齢化や精神障がい者の増加などにより、必要な支援や課題はますます多様化・複雑化しています。障がいのある方々が引き続き住み慣れた地域で安心して生活できるよう、相談支援体制の充実や在宅生活・就労支援の強化が求められています。

———— 施策の指針と主な取り組み ————

課題解決に向けて、以下の施策・取り組み等を行っていきます。

施策の指針
○安心して生活できる仕組みづくり
○いきいきと暮らせる地域づくり
○健康増進と介護予防の推進

	分野	主な取り組み
保健・医療	健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○栄養及び健全食生活の推進 ○運動習慣の確立・定着化 ○心身の健康保持 ○喫煙・飲酒対策の推進 ○歯・口腔機能の維持・向上対策 ○健康診査・がん検診等の受診促進 ○生活習慣病の重症化予防対策の推進 ○特定保健指導の充実 ○健康に関する相談体制の整備 ○フレイル予防の推進 ○町民の主体的な健康づくり体制の整備 ○予防接種の推進 ○医療費等の負担軽減
	医療保険	<ul style="list-style-type: none"> ○国民健康保険医療費適正化事業 ○国民健康保険税・後期高齢者医療保険料収納率の向上
福祉	地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉協議会の活動支援と連携強化 ○福祉ボランティア活動の推進 ○生活困窮者自立支援事業の実施 ○生活保護制度の適正な運用 ○相談窓口の強化、連携 ○包括的な支援体制の拡充
	介護・高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の総合相談支援体制の充実 ○高齢者の権利擁護の推進 ○高齢者の防災・防犯対策の推進 ○介護保険サービスの推進 ○高齢者の福祉・生活支援サービスの推進 ○高齢者の生きがいづくり活動の支援 ○シルバー人材センターの活動支援 ○高齢者の「通いの場」の充実 ○認知症に関する知識の普及啓発と理解促進 ○認知症の早期発見・早期対応体制の充実 ○認知症の人やその家族の支援 ○フレイル・介護予防の推進 ○高齢者の支え合い体制づくりの推進

Ⅲ 基本計画

4 健康で安心して暮らせるまち

分野		主な取り組み
	障がい者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者の社会参加の促進 ○就労移行及び就労継続の支援 ○地域生活支援拠点等の整備の推進 ○相談支援体制の充実、強化 ○障害福祉サービス等の提供 ○医療費助成事業

KPI（重要業績評価指数）

指標	指標説明	現状	目標
特定健康診査受診率	特定健診の受診の割合	50.2% (R6)	60.0%/年度
特定保健指導率	特定健診の結果により、生活習慣病のリスクが高いと判断された方への指導の割合	45.9% (R6)	60.0%/年度
国民健康保険税収納率 (現年度分)	課税した国民健康保険税の総額のうち、実際に徴収できた額の割合	97.27% ※R2～R6 平均	97.30%/年度
後期高齢者医療健康診査受診率	後期高齢者の基本健診の受診率	23.6% (R6)	27.3%/年度
一般就労への移行者数	就労移行、就労継続支援事業の利用者のうち、一般就労へ移行した人数	1人 (R6)	3人以上/5年
シルバー人材センター 会員数	南部広域シルバー人材センターに登録している人数	141人 (R6)	151人 (R12)
認知症サポーター数	認知症サポーター養成講座受講者数	955人 (H19～R6)	1,135人 (R12)

関連計画等

- ・ 伯耆町健康づくり計画
- ・ 伯耆町国民健康保険事業実施計画
- ・ 伯耆町新型インフルエンザ等対策行動計画
- ・ 伯耆町高齢者福祉計画
- ・ 南部箕蚊屋広域連合介護保険事業計画
- ・ 伯耆町地域福祉推進プラン
- ・ 伯耆町障がい者プラン
- ・ 伯耆町障がい者就労施設等からの物品等調達方針